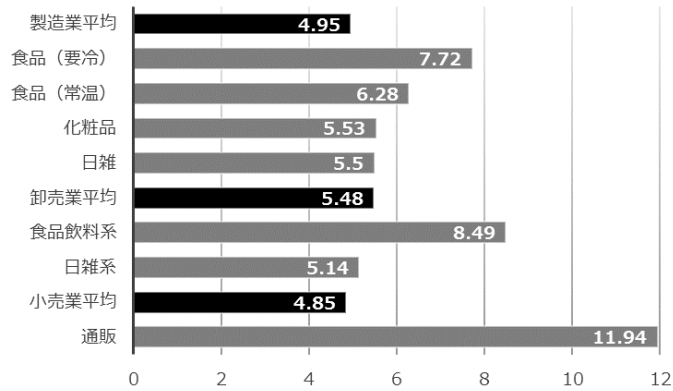


サプライチェーン・ネットワーク最適化

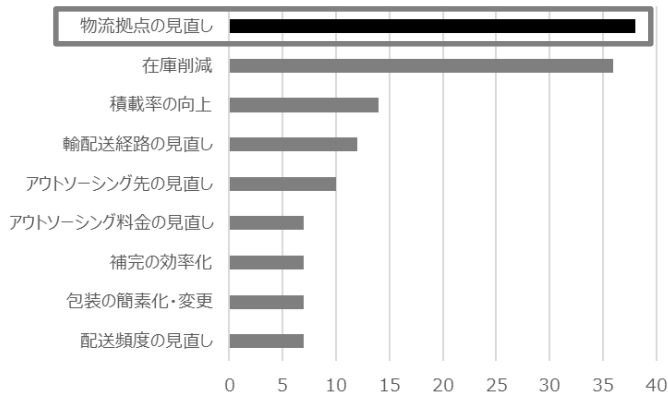
事業環境と課題

消費財業界は、流通の多重構造や製品特性により、売上高物流費率が高い傾向にあります。今後も、EC拡大等により物流量が増加する一方で、労働力不足やそれに伴う人件費高騰によりさらに物流費が増加する事が予想されます。

業種別売上高物流費比率(%)



物流コスト削減施策の効果アンケート結果(上位)

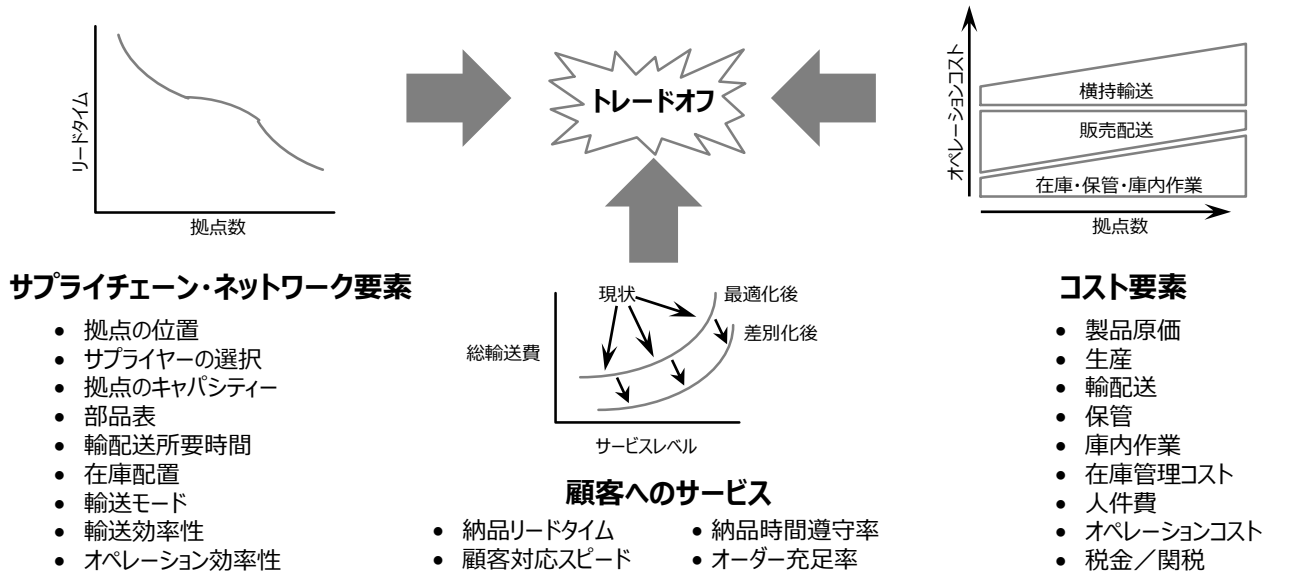


出所：JILS 2016年度物流コスト調査結果とロジスティクスの課題

サプライチェーン・ネットワーク最適化の論点

サプライチェーンを構成するサプライチェーン・ネットワークの見直し・再編には大きな改善機会が存在する一方、トレードオフ要因の分析と制約条件を踏まえた最適設計が鍵を握ります。

トレードオフの関係にあるコスト削減とサービスレベル向上の最適化が必要

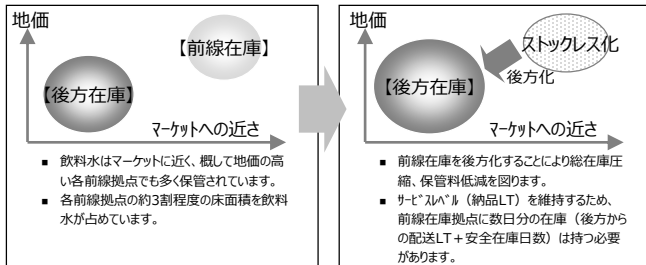


一般的には5%～25%の物流費削減の一方で、株価向上と顧客満足度改善の実現を目的としています。

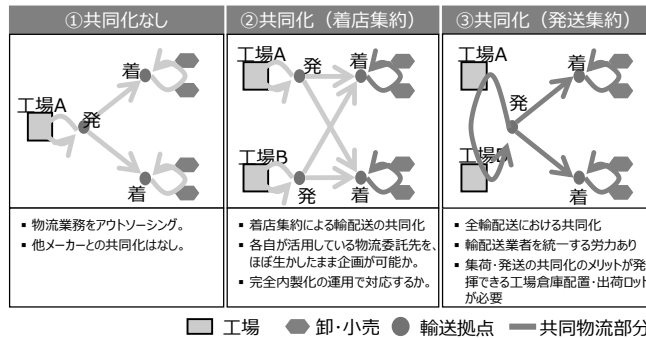
サービスの特長

利用するシミュレーションツールや地図情報に制約が無い、ソリューションフリーの立場から、最適なソリューションの組み合わせをもとに、短期でのシミュレーションとあるべき姿の策定をご支援いたします。

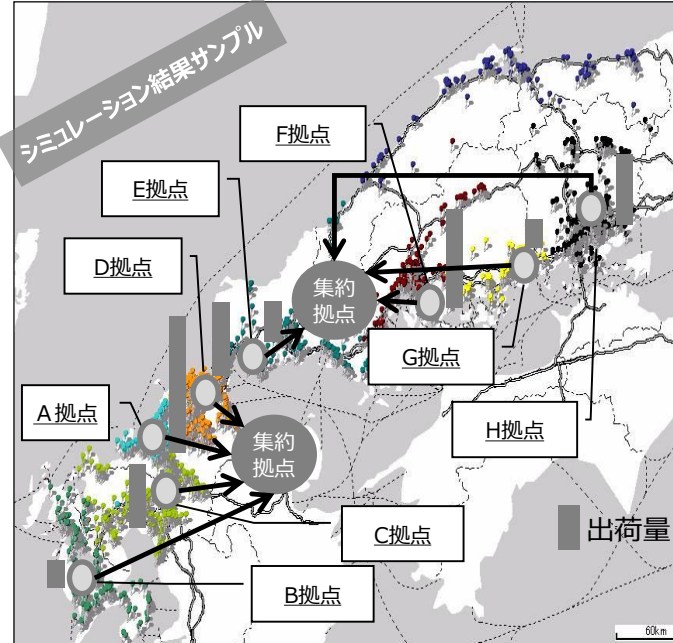
拠点配置モデルの検討と考察



サプライチェーン・ネットワークモデルパターンの策定



SCM供給・拠点配置の最適シミュレーション



Why QUNIE ?

消費財業界での調達物流から販売物流に至る豊富な経験と、QUNIEの物流スペシャリストとの協業により、業界の抱える流通構造上の問題を考慮したSCネットワークの再構築をご支援いたします。

消費財×物流×IT知見
を持ったコンサルタント

消費財企業の豊富なロジスティクス案件の経験と合せ、QUNIEでは事業会社（物流企業・消費財企業・IT企業等）出身者を多く擁しており、単なる机上の空論ではない現実的なソリューションの提供が可能です。

ソリューションフリーによる
最適化の実現

ネットワーク最適化のキーとなるシミュレーションツールや精度の高い地図情報を、目的に合った最適な組み合わせで活用し、実装までご支援する事が可能です。

事例1) 消費財メーカーB

<DCスルー型物流ネットワーク構築>
・在庫後方配置によるDC新設、現行在庫拠点のスルーセンター化

事例2) 食品流通C

<調達物流内製化>
・調達物流モデルの策定およびトータル費用試算

株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
Email: info@qunie.com <https://www.qunie.com>

Trusted Global Innovator
NTT DATA Group

NTT DATA